

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)KICONA泉佐野店	階数	地上2F
建設地	大阪府泉佐野市南中安松	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,745時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2020年7月28日
敷地面積	21,112 m ²	作成者	山川 雅也
建築面積	3,728 m ²	確認日	2020年7月28日
延床面積	3,616 m ²	確認者	山川 雅也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 (kg-CO₂/年・m²) 92

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	N.A.
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.3
耐用性	2.9
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

建物外皮の	4.9
自然エネ	3.0
設備システ	2.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.0
地域環境	3.1
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	外観の色彩については、基調色に彩度を抑えた色を使用し、アクセント色に活気のある色を使用することで、街並みに調和させ、地域性及びアメニティの向上に努めた。	その他 (特記事項なし)
Q1 室内環境	有害物質の少ない建材を使用し、十分な換気に努め、室内空気汚染の低減に配慮した。	Q2 サービス性能 バリアフリー等の機能性を考慮し、建物全体としての耐久性及び更新性を高めるように配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)		(特記事項なし)
LR1 エネルギー	空調や換気、照明等の設備機器については、エネルギー効率を高めるよう配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水等を考慮し、水資源保護に努めた。
LR3 敷地外環境		駐車・駐輪スペースに配慮し、交通負荷の抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0062

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)KICONA泉佐野店						
	建設地	大阪府泉佐野市南中安松						
	用途/区分	集会所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						2	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.9	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.0	2	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							